

を図りたい。

災害に強い まちづくりについて

問 小中学校校舎の耐震改修工事の実施状況と今後の計画は。

答 平成21年度末の耐震化率は81%である。残り27カ所で、平成22年度は、形原中の北棟の解体工事等を予算計上している。校舎耐震化は、予定どおり、平成24年度までにすべて完了するように進めたい。

名鉄西尾・蒲郡線の 存続について

問 西部地区の方々や学生をはじめ高齢者や車に乗れない住民にとって欠くことのできない重要な公共交通機関であるが、対応は、

答 基本的なスタンスは、一つは、市民まるごと赤い電車応援団の支援のもと、利用促進に向けて一層の努力をしていくこと、二つ目は、存続を前提に、必要となる財政支援を関係市町とともに考え、3月をめ

名鉄電車



どに具体策をまとめたい。

下水道事業などの 都市基盤整備について

問 下水道の供用が開始されて以来32年経過し、ようやく西浦地区にも使用できる地区が出てきたが、今後どのようなものか。

答 平成22年1月末での普及率は57.5%で、引き続き普及促進活動を続け、率の向上に努めたい。これからも、中部区画整理事業に併せ整備し、西浦地区は、

平成28年度を完了目標に整備を進めていきたい。

学校教育における特別 支援教育の充実について

問 子供たちとのかわり、成果、問題点はどうか。

答 子供に寄り添い、声をかけ、落ち着かせる特別支援教育補助員の献身的な支援のおかげで、いろいろな場面で子供たちの成果を見ることができ、現場から、父兄から多くの感謝の言葉をいただいている。

蒲郡未来の会

代表 庄田博己

市民病院経営の 展望は

問 政権交代による医療行政改革で公立病院はどうなるのか。また、市民病院経営の展望は。

答 医療費の削減に歯止めがかかり、診療報酬の増額において評価できる。また、一般病棟の入院基本料加算分での増収が見込め

るものの、今回の改定内容のすべてが病院に増収をもたらすものではない。

少子化（子育て支援） 対策は

問 民営化前と比べ経費が削減されている一方で、低年齢児、延長、一時、休日保育などサービスは向上していると感じているが、市の認識はどうか。また、さらなる民営化の予定は。

答 保育園の民営化によってサービスが低下するという認識はなく、予算面



元気に遊ぶ保育園児たち

でプラスになるところはありと判断している。また、民営化はこれで一段落したと考えている。

問 次世代育成支援に資するため、ほほえみプラン21の後期行動計画等の中で幼保一元化の推進などやっていかなければいけないものはあるか。

答 幼保一元化を含め、あまり具体的なものは見えてきていない。

高齢者が安心して 暮らせる介護・医療は

問 特別養護老人ホーム、老人保健施設など介護施設の待機状況は。

答 自宅待機者は398名程度、そのうち要介護3名程である。

問 介護報酬の引き上げで介護従事者の待遇改善は行われたのか。

答 残念ながらすべての事業所の職員の給与に反映していない。

問 市内に119床ある介護療養病床は、今後どうなっていくのか。